

○「合同会社まるごと」が中核法人となった協議会体制を令和5年度に確立し、重要伝統的建造物群保存地区である海野宿の文化財としての価値を大切にしつつ、空き家になっている歴史的建築物の農泊としての活用と地域の農林業を一体的に活性化する「海野宿モデル」を構築し、農山村の活性化と所得向上を目指す。

長野県東御市



【採択年度】
令和4年度

【事業実施期間】
令和4～5年度

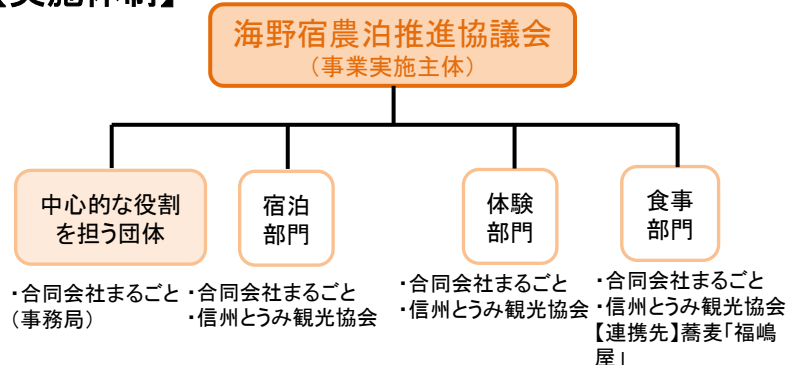


東御市型ワインツーリズム



東御市の風景

【実施体制】



【特徴的な取組】

- 近隣で成功している農泊、レストランやワイナリーの経営者等を講師として招き、協議会や地元住民に対する研修会を開催し、地域の機運醸成や知識と能力向上
- 八重原米や信濃くるといったブランド力のある特産物活用や「ワインシティ東御」としてのブランドイメージを向上させる地産地消メニューや、農林水産省が推進する「みどりの食料システム戦略」に合致する有機農産物や環境負荷低減に取り組む農家を支援できるメニューを検討・開発

【取組内容】

【1年目】

- ・地域の将来像についてワークショップを行いながら合意形成
- ・今後の推進体制を構築
- ・空き家調査を通じて今後の農泊推進の方向性を策定
- ・体験、食事のコンテンツ開発に着手

【2年目】

- ・空き家(1軒)に、宿泊施設、レストランなどの事業が行えるよう改修計画を策定
- ・体験・滞在・交流を促進する農泊運営方法、収益向上策の具体化
- ・農泊を発展させる人材の確保・育成



重要伝建地区の海野宿



空き家改修による農泊、レストラン展開の検討

宿泊施設の対応状況 (青：対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
 WiFi	 WC				